【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和7年4月16日(2025.4.16)

【国際公開番号】WO2024/034403
【出願番号】特願2024-540365(P2024-540365)
【国際特許分類】
H01M 10/04(2006.01)
H01M 10/052(2010.01)
H01M 10/058(2010.01)
H01M 50/184(2021.01)
H01M 50/186(2021.01)
H01M 50/197(2021.01)
H01M 50/191(2021.01)
H01M 50/193(2021.01)
H01G 11/12(2013.01)
H01G 11/80(2013.01)
H01G 11/78(2013.01)
【ＦＩ】
H01M 10/04 Z
H01M 10/052
H01M 10/058
H01M 50/184 A
H01M 50/186
H01M 50/197
H01M 50/191
H01M 50/193
H01G 11/12
H01G 11/80
H01G 11/78

【手続補正書】
【提出日】令和7年1月21日(2025.1.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
集電体を含み第１方向に沿って積層された複数の電極を有する電極積層体と、
前記第１方向に隣り合う前記集電体の間に内部空間を形成すると共に、当該内部空間を封止するように前記電極積層体に設けられた第１樹脂部と、
前記第１樹脂部に接合された封止体と、
を備え、
前記第１樹脂部の外表面は、
前記第１方向における第１端面と、
前記第１方向における前記第１端面と反対側の第２端面と、
前記第１端面と前記第２端面とを接続するように前記第１方向に沿って延在する４つの外側面と、

を含み、
前記封止体は、少なくとも前記第１端面及び前記第２端面に接合されており、
前記第１樹脂部は、
複数の前記集電体のそれぞれの周縁部に設けられた枠状の複数のシール材と、
前記第１方向に隣り合う前記シール材の間に介在され、前記複数のシール材と共に前記集電体の間に前記内部空間を形成する枠状の複数のスペーサと、
前記複数のシール材及び前記複数のスペーサの前記内部空間と反対側の外周縁が溶着されることにより形成され、前記４つの外側面を含む溶着端部と、
前記４つの外側面のうちの１つの外側面である第１外側面と前記内部空間とに開口することにより、前記内部空間と当該第１樹脂部の外部とを連通する複数の連通孔と、
を含み、
少なくとも前記第１樹脂部における前記第１外側面の前記連通孔の開口が形成された領域を含む第１部分では、前記第１方向からみて、前記シール材の内縁は、前記集電体の外縁より内側に位置し、
少なくとも前記第１部分では、前記第１方向からみて、前記封止体の内縁は、前記シール材の内縁に一致するか前記シール材の内縁よりも外側に位置し、
少なくとも前記第１部分では、前記第１方向からみて、前記スペーサの内縁の少なくとも一部は、前記シール材の内縁よりも内側に位置し、
前記シール材は、前記集電体の両面に溶着されており、
前記スペーサは、前記第１方向に隣り合う一対の前記シール材と接触している、
蓄電モジュール。
【請求項２】
前記４つの外側面は、前記第１外側面と異なる外側面である３つの第２外側面を含み、
前記第１樹脂部における前記３つの第２外側面のそれぞれを含む第２部分では、前記第１方向からみて、前記スペーサの内縁は、前記シール材の内縁よりも内側に位置する、
請求項１に記載の蓄電モジュール。
【請求項３】
前記封止体は、前記第１部分において前記第１端面及び前記第２端面に溶着された射出樹脂部を含む、
請求項１に記載の蓄電モジュール。
【請求項４】
前記封止体は、金属層と前記金属層に積層された絶縁層とを含むラミネートシートを含み、
前記ラミネートシートは、前記第１端面及び前記第２端面に溶着されている、
請求項１に記載の蓄電モジュール。
【請求項５】
前記電極積層体は、前記第１方向に隣り合う前記複数の電極のそれぞれの間に介在されたセパレータを含み、
前記セパレータの端部は、前記第１方向において前記シール材と前記スペーサとの間に配置されている、
請求項１～４のいずれか一項に記載の蓄電モジュール。